

歴史能力検定 第41回（2022年）

2級—日本史 解答・解説

1—③	2—④	3—②	4—①	5—②
6—①	7—②	8—②	9—④	10—①
11—③	12—②	13—②	14—①	15—④
16—③	17—①	18—①	19—③	20—①
21—④	22—③	23—②	24—③	25—②
26—②	27—④	28—③	29—③	30—④
31—①	32—②	33—②	34—③	35—④
36—②	37—④	38—③	39—④	40—②
41—①	42—③	43—③	44—④	45—③
46—土偶	47—元亨釈書		48—大日本沿海輿地全図	
49—新婦人協会	50—北清事変			

1

46. 繩文時代につくられた土偶にはハート形土偶や遮光器土偶などさまざまな種類があるが、女性をかたどったものが多く、生殖や豊かな収穫などを祈る呪術に用いられたとされている。
1. ③は福岡県の志賀島。『後漢書』東夷伝には、建武中元2（57）年に、奴国王が光武帝に朝貢して印綬を賜ったことなどが記されている。1784年に志賀島で発見された金印には「漢委奴国王」とあり、奴国の王が光武帝から授かった印は、この金印だと考えられている。①は隱岐、②は対馬、④は種子島を示す。
2. ④朝鮮半島から伝わった技術によって生産されたのは須恵器。古墳時代には、弥生土器の系譜を引く土師器とともに須恵器が使用された。
3. Ⅲ「百濟からの亡命貴族の指導下で、九州地方に水城や大野城が築かれた」のは7世紀。663年の白村江の戦いで敗戦の後、倭では防衛対策が強化された。Ⅱ「墾田永年私財法」が出されたのは8世紀。墾田永年私財法の制定を背景に、東大寺領の道守荘などが北陸地方に形成された。
- I 平忠常が反乱をおこしたのは11世紀。
4. ②飛鳥淨御原令は天武天皇のもとで作成が開始され、持統天皇のもとで完成・施行された。③八色の姓を定めたのは天武天皇。④持統天皇は、藤原京遷都を断行した。
5. 右大臣の②蘇我倉山田石川麻呂、内臣の③中臣鎌足、国博士の④高向玄理や旻によって進められた。

6. 四国地方を中心とする地域は①の南海道。紀伊・淡路のほか、四国の阿波・讃岐・伊予・土佐が南海道とされた。

7. ②聖武天皇によって出された大仏造立の詔。①元正天皇のもとで出された三世一身法。③孝徳天皇によって出された改新の詔。④推古天皇のもとで出された憲法十七条。

8. ②淳仁天皇のもとでは、天皇から惠美押勝の名を賜った藤原仲麻呂が権勢をふるったが、孝謙太上天皇と道鏡の接近、孝謙太上天皇と淳仁天皇の対立のなかで、仲麻呂は政治的影響力を弱めていった。764年、仲麻呂は挙兵して勢力挽回をはかったものの敗死した（惠美押勝の乱）。淳仁天皇は廢されて淡路に配流され、孝謙太上天皇が重祚（再即位）して称徳天皇になった。

9. ①『十六夜日記』は阿仏尼、②『土佐日記』は紀貫之、③『更級日記』は菅原孝標の女が残した。

2

10. ①平清盛らのもとで修築された大輪田泊は現在の神戸港の一部。②は堺、③は屋島、④は下関を示す。
47. 『元亨釈書』は、臨済僧虎闘師鍊が著した仏教史書。元から來日した臨済僧一山一寧に日本仏教についての無知を指摘され、これに発憤してまとめられた。1322年成立。
11. Ⅱ『禁秘抄』が著されたのは鎌倉時代。Ⅰ『応安新式』が制定されたのは南北朝時代。Ⅲ一条兼良が『花鳥余情』を著したのは室町時代。
12. ②記録所は、文書調査のために朝廷のもとで設置された機関。建武の新政で設置された記録所がよく知られている。

13. ①「守護に対して一国内の莊園や公領の年貢の半分を徴発する権限を認めた」のは室町幕府。半濟令の内容を説明したもの。③備中鍬が普及したのは江戸時代。④三毛作は、室町時代において、畿内でみられるようになった。干鰯などの金肥が利用されるようになったのは江戸時代。
14. ②引付衆がおかれたのは1249年。③同朋衆は室町時代以降、將軍家に仕え、雜事や諸芸能に従事した人びとのこと。④奉公衆は室町時代における將軍直属の軍事力。
15. 分割相続のくり返しによる所領の細分化は御家人を窮乏させる一因となった。御家人救済を目的として、北条貞時によって永仁の徳政令が出された。
16. ①後醍醐天皇は鎌倉幕府の滅亡後に建武の新政を推進した。建武政権に反旗を翻して入京した足利尊氏によって、光明天皇が擁立された。②龜山天皇を祖とする大覺寺統の天皇である。④後醍醐天皇が1339年に死去した後、1392年に南北朝の合体が実現した。
17. 室町幕府が衰退するなかで、日明貿易は堺商人と結んだ細川氏、博多商人と結んだ大内氏が担うようになった。
18. ②大山崎油座の本所は石清水八幡宮。③越後屋呉服店は江戸時代の1673年、江戸に開かれた。④十組問屋や二十四組問屋が結成されたのは江戸時代。

3

19. ①徳川吉宗は紀伊藩の藩主であった。將軍在職期間は、1716年から1745年。②徳川吉宗ではなく徳川綱吉を説明した文。④収穫に応じて年貢率を定めるのは検見法。定免法は豊凶に関係なく税率を一定にする方法。
20. ①九十九里浜では鰯漁が盛んで、加工されて干鰯として出荷され、金肥の一つとして広く普及した。②③鯨や鰐は土佐、④鯵は蝦夷地などがおもな漁獲地であった。
21. ①貝原益軒の『大和本草』、稻生若水の『庶物類纂』が正しい。②寛政暦ではなく貞享暦が正しい。③吉田光由が『塵劫記』を、関孝和が『発微算法』を著した。
22. ③野田は銚子とともに、下総の醤油の産地。
23. 18世紀後半に政治を主導したのは田沼意次。新井白石は18世紀前半に正徳の政治を推進した。18世紀後半に天明の飢饉、19世紀前半に天保の飢饉が発生した。
24. ③荻生徂徠は享保の改革で登用された。
25. ③ラクスマンが根室に来航したのは1792年。②近藤重蔵・最上徳内らに押捉島を探査させ、「大日本恵登呂府」の標柱を立てさせたのは1798年。①全蝦夷地を松前奉行の支配のもとにおいたのは1807年。
26. ②支倉常長らの使節は慶長遣欧使節と呼ばれる。
48. 「伊能図」とは大日本沿海輿地全図のこと。
27. ④問題文で説明されているのは1828年のシーボルト事件。(国外追放は1829年。)

4

28. ③大阪会議には板垣退助が参加した。江藤新平は前年の

- 1874年に佐賀の乱をおこし、処刑されていた。
29. ③民友社を設立して『国民之友』を刊行したのは徳富蘇峰。三宅雪嶺らは政教社を設立して『日本人』を刊行した。
30. ①は中村正直、②は福沢諭吉、③は加藤弘之。
31. ①大成会は第一議会において、300議席中79議席を確保していた。②革新俱楽部は1922年に結成された。③立憲改進党は第一議会開催時の民党。④立憲帝政党は1882年に結成され、翌年解党した。
32. 井上馨の欧化政策は②鹿鳴館外交とも呼ばれる。
33. 元老院は立法機関。枢密院は憲法草案を審議するために、1888年に設置された。大同団結運動は1886年から1889年にかけて展開された。地方改良運動は日露戦争後の運動。
34. ②労働組合期成会の結成(1897年) → ①日本社会党の結成(1906年) → ③第1回メーデー開催(1920年)。
49. 新婦人協会は市川房枝によって、1920年に結成された。
35. 加藤高明内閣時に成立した普通選挙法によって、選舉人の人口比は20.8%となった。
36. ①は1960年、③は1972年、④は1968年。

5

37. ④1862年の文久の改革を幕府に実行させた島津久光らがおこした、文久年間の生麦事件を説明したもののもの。
38. ③アメリカ軍が北爆を開始したのは1960年代。ベトナム戦争の影響を受けた好景気はいざなぎ景気。
39. ①フェノロサは1880年代に日本画の復興につとめた後、1890年に帰国した。③第1回文展は1907年に開催された。②教育基本法が制定されたのは1947年。
50. 1900(明治33)年の北清事変は日露戦争の遠因となった。
40. 高橋是清は歴代の大蔵大臣をつとめた。原敬内閣時に派遣が決定していたのはワシントン会議。高橋是清内閣時の1921年からワシントン会議が開催された。パリ講和会議は原内閣時の1919年に開催された。
41. 西原借款は寺内正毅内閣時の1917年、二十一カ条の要求は第2次大隈重信内閣時の1915年。大学令の公布は原内閣時の1918年。小学校令などとともに学校令と総称される帝国大学令は、第1次伊藤博文内閣時の1886年に公布された。
42. 第1次若槻礼次郎内閣時の1927年に、③金融恐慌が発生した。①震災恐慌は1923年、②昭和恐慌は1930年、④戦後恐慌は1920年に発生した。
43. ③高橋是清蔵相は3週間のモラトリアム、日本銀行からの巨額の救済融資によって金融恐慌を収束させた。
44. ④占領期とは1945年から1952年まで。一方、「造船疑惑事件により第5次吉田茂内閣への批判が強まるなか、日本民主党が結成された」のは1954年。
45. 二・二六事件をおこした青年将校らは③皇道派。皇道派と対立していた陸軍の派閥が④統制派。①労農派と②講座派は、ともにマルクス主義の経済学者の一派で、両派は昭和戦前期に日本資本主義論争を展開した。